



歴史学び平和を守ろう

ラバウルの祖父が語った戦争

KSN国際交流クラブが7月8日、南部町民センターで「ラバウルの祖父が語った戦争」と題し、講演会を行いました。熊本大学で政治学を学ぶパプアニューギニアからの留学生フランシス・ワールグライさんが戦争の実情を講演。フランシスさんは「武器を持つ日本兵は怖かったそう。多くの現地住民が殺され、強制労働に連行された」と振り返りました。坂本智江子さんは「多くの尊い命を犠牲にして、今の日本の平和がある。平和を守ることが私たちの仕事」と話しました。



▲絶対に戦争を繰り返さないことが大事と話すフランシスさん

夏はやっぱりそうめん流し

七夕飾りとそうめん流し

北校区青少年健全育成連絡協議会主催の「七夕飾りとそうめん流し」が6月27日、ふれあいの森研修センターで開催されました。地域の子どもと保護者、役員などを含め104人が参加。七夕飾りを作ったり、思い思いの願いを短冊に書いたりしました。その後、参加者は冷たいそうめんを舌鼓を打っていました。

初めて参加した家族は「子どもたちは流れてくるそうめんを箸で取りながら喜んでいました。来年もぜひ参加したいです」と笑顔で話していました。



▲そうめんを夢中になって食べる参加者の皆さん

力を合わせて優勝目指す

平成27年度菊池郡子ども会球技大会

平成27年度菊池郡子ども会球技大会が7月5日、大津小学校(大津町)で行われました。

ソフトボールには、菊陽町から武蔵ヶ丘4町内子ども会が出場しました。訪れた多くの保護者から盛んな声援が送られ、子どもたちはひたむきなプレーが続きました。この大会では、大津町東小子ども会が優勝しました。

ビーチボールバレーには、6月14日に町内で行われた菊陽町子ども会ビーチボールバレー大会を勝ち抜いた馬場子ども会と沖野子ども会が出場。見事両チームとも決勝まで勝ち残りました。決勝戦では、第3セットまでもつれ、どちらのチームが勝ってもおかしな状況でしたが、沖野子ども会が町大会のリベンジマッチを果たし、優勝しました。

沖野子ども会主将の笹渕ななみさんは「最初は負けると思ったけど、たくさんの応援があって勝てました。とてもうれしい」と笑顔で話しました。

優勝した沖野子ども会は8月23日、天草市・五和町で行われた熊本県子ども会球技大会に出場しました。



▲郡ソフトボール大会に参加した武蔵ヶ丘4町内子ども会



▲郡ビーチボールバレー大会で優勝した沖野子ども会

HELLO! Kikuyo Machi

菊陽町の皆さん、こんにちは

Joleen Tomlinson

ジョリーン・トムリンソン



- 1 菊陽町役場の屋上でっころほほえむジョリーンは平成元年ジャマイカのマンデビル市生まれ。父、母、弟の4人家族。趣味は映画製作、読書、ハイキング、旅行
- 2 モンテゴ・ベイのビーチでジャンプ
- 3 カリブ海に浮かぶ白い砂浜の無人島“メイデンキー”
- 4 スパイシーソースに漬けた鶏肉をじっくり焼き上げたジャマイカの定番料理“ジャークチキン”
- 5 家族でフットボール観戦

私の名前はジョリーン・トムリンソンです。

ジャマイカという美しい島国からやってきました。私は修士課程の学生で、観光産業やイベントの運営などを学んでいます。17歳の時に交換留学でパナマに行き、21歳の時にコロンビアに留学しました。だから日本は3カ国目です。

ジャマイカはカリブ海に位置する、西半球で3番目に大きな英語圏の国です。スポーツや音楽、食べ物、ビーチとともに育んできた文化が有名です。

ジャマイカの象徴は、世界最速の男であるウサイン・ボルトや国際的なレゲエの象徴であるボブ・マーリー、ジャークスタイルと言われる料理、息を呑むように美しい白い砂浜が続くビーチです。私はそのような環境で育ったので、陸上競技もレゲエやダンスホールミュージックも、友達とビーチに行くことも、いろいろな料理

を食べることも大好きです。日本食の中で一番好きな食べ物は寿司と刺身です。菊陽町に来てからは辛子蓮根も大好きになりました。

ジャマイカと日本は音楽やダンスを通じて深い関わりがあります。ここにいる間は日本の文化を学び、菊陽町の素晴らしい場所へ行きたいです。そしてたくさんの人々との出会いを楽しみにしています。

これから皆さんの英語の技術が向上する手助けができるよう全力を尽くします。





交流深める

各地区で夏祭り

各地区の夏祭りが7月中旬～8月下旬、各地区の公民館や公園で行われました。

北新山区夏祭りは8月9日、北新山公民館で行われました。出店では焼きそばや焼き鳥、かき氷、カレー、フランクフルト、くじ引きや金魚すくい、小物などを販売。ステージでは演歌やフラダンス、ものまねが披露されました。菊陽音頭やサンバおてもやんなどの総踊りの他、スイカ早食いやお楽しみ抽選会もあり、訪れた多くの地域の人々が交流を深めていました。



▲菊陽音頭を踊る北新山区の皆さん

感謝の気持ちを力に

日本選手権中学硬式野球大会出場・ホークスカップ優勝

熊本大津リトルシニア(池尻康晴監督、二殿史朗コーチ)が7月末～8月上旬、日本リトルシニア日本選手権中学硬式野球大会と2015ホークスカップ中学硬式野球大会に2年連続出場しました。両大会に出場した武蔵ヶ丘中3年の小崎勇志さんはホークスカップの準決勝・決勝戦で活躍し、優勝に導きました。

小崎さんは「監督やコーチをはじめ、多くの関係者の支えのおかげで大きな大会に出場し優勝できた。高校でも野球を続けたい」と目を輝かせていました。



▲左から二殿史朗コーチ、小崎勇志さん

スポーツで地域間交流

第33回地区対抗軟式野球ナイター大会

第33回地区対抗軟式野球ナイター大会が、7月23日～7月29日、町民総合グラウンドで開催されました。この大会は、中学生から還暦を過ぎた選手まで幅広い年齢層の選手が同じチームでプレーします。町内から10地区が参加。熱戦が繰り広げられ、決勝戦では緑ヶ丘区が緑陽台区を延長戦の末破り、優勝しました。優勝した緑ヶ丘区の下田三樹夫さんは「決勝戦はどちらに転んでもおかしくない好ゲームでした。選手一丸となってつかんだ優勝です」と話しました。



▲優勝した緑ヶ丘区の皆さん

母の目線で見守り25年

菊陽町更生保護女性会 法務大臣感謝状

菊陽町更生保護女性会の紫藤満さん(光団地)が6月10日、法務大臣から感謝状を贈呈されました。

紫藤さんは母の目線で罪を犯した人を温かく見守り、地域の犯罪の予防に25年間尽力。同女性会は、ボランティアで罪を犯した人が更生するための施設を訪れ、話を聞いたり一緒に仕事をしたりしています。

紫藤満さんは「長く続けないと、この活動の意味は分からないと思う。人とふれあうことが気持ちいい。これからも活動を続けたい」と話しました。



▲25年間地域の犯罪予防に尽力した紫藤満さん(中)

楽しかった昔遊び

南部町民センター世代間交流事業

地域の子どもと中高齢者が昔遊びを通してふれあう交流会が8月7日、南部町民センターで行われました。これは町教育委員会(南部町民センター)と地域の老人会や南小校区の青少年健全育成協議会などが協働して毎年実施しているもので、ことしは子どもと中高齢者併せて約100人が参加しました。

会場には「ししがしら作り」「折り紙」「こま回し」「水でっぽう作り」の4つのコーナーが設けられ、子どもたちも4班に分かれて、それぞれのコーナーを回りながら遊びました。牛乳パックを使った「ししがしら作り」では、牛乳パックの切り方などを教わりながら仕上げました。「水鉄砲作り」では、棒に布切れを巻いて、水を筒から飛ばして遊びました。

お昼は、手作りのカレーなどが振る舞われ、デザートにアイスクリーム、綿菓子、ポップコーンもあり、子どもたちは大喜びでした。

自由時間は、ステージで童話暗唱の発表やギター・エレキトーンなどの演奏、マジックもあり、楽しい交流会となりました。



▲水鉄砲の作り方を教わる子どもたち



▲牛乳パックで作る獅子舞の「ぱくぱくおしし」

町内3小学校がエール送る

姉妹都市・屋久島町へ贈り物

菊陽南小学校(児童75人)、菊陽西小学校(児童882人)、武蔵ヶ丘小学校(児童559人)の児童が7月17日～7月21日、姉妹都市・鹿児島県屋久島町口永良部の金岳小学校の児童10人に応援メッセージや貼り絵を贈りました。

この応援メッセージや貼り絵は、火山噴火で避難したまま夏休みを迎える口永良部島の児童を励まそうと、それぞれ学校の児童会が提案したもの。児童たちは休み時間や学級活動などを利用して学年ごとに心を込めて作りました。

メッセージには「ずっと応援しています」「とても怖かったと思います。大変だと思いますが、一緒に頑張りましょう」「早く皆さんがふるさとに帰れることを祈っています」「いつか遊びに来てね。待ってます」などの励ましの言葉があり、子どもたちが描いた絵や貼り絵などと共に贈られました。

菊陽西小6年山口真采さんと吉本美結さんは赤峰教育長を訪れ、「作品を見て笑顔になってほしいです」とエールを送りました。



1西小の児童が作った貼り絵
2赤峰教育長に応援メッセージを手渡す西小児童
3武小児童が書いた励ましの言葉

